



狂歌
春
洒
雪

狂歌

春
洒
雪

特 別
A5
6590
170



170

酒



洗すもなほ春の心解る入のほろに
春のほろもなほ春の心解る入のほろに
解るるもなほ春の心解る入のほろに
春のほろもなほ春の心解る入のほろに
○ 春のほろもなほ春の心解る入のほろに
○ 春のほろもなほ春の心解る入のほろに
○ 春のほろもなほ春の心解る入のほろに
○ 春のほろもなほ春の心解る入のほろに

さるにこそいふに境ともいひまゝにみけの後の春のまゝ

春にけりまゝにさるにさるに人のまゝまゝまゝ

○春に七瀬のまゝにお半も桂の川柳決まはり

おちりもさるにけりまゝにけり池原もさるにけり

けりまゝにさるにけりまゝにけりまゝにけりまゝにけり

春をど去年のまゝにさるにさるにさるにさるに

○まゝに年まゝにさるにさるにさるにさるに

春こそさるにけりまゝにけりまゝにけりまゝにけり

○春こそさるにけりまゝにけりまゝにけりまゝにけり

花のまゝにさるにけりまゝにけりまゝにけりまゝにけり

さるにけり

ぬ

老の耳きこえ

いんゝに

はきこえ

まのぼろ

い

へ

み

あゝのせいの

はきこ

あきあき

あきあきの

性

を
る

長
途

あー車

屋方のうらぬ

井あそり

うらぬ

うらぬ

